

## デジタル技術の活用及びDX推進の取組状況

### デジタル技術が社会や当社の競争環境に与える影響について

デジタル技術の進歩はめざましく、今や、パソコンやスマートフォンやインターネットが生活や事業活動を行う上で不可欠なツールとなっています。今後もデジタル技術は進展し、我々にとってさらに重要なインフラ・経営資源になる事は明らかです。

このような社会状況の中、高品質なフルハンドメイド紳士靴を供給し続けるためには、デジタル技術を活用した生産性の向上とお客様の利便性の向上が不可欠であると考えております。

### 経営ビジョン

堅牢なセキュリティー体制の整備を前提に、受注情報と生産管理をデジタル化し、迅速且つ正確なサービスを提供できる体制を構築致します。

これにより、お客様の利便性の向上と満足度の向上及び、当社の生産性の向上を図り、末永くお客様から選ばれ続けるシューメーカーを目指します。

### 経営及びデジタル技術等の活用の具体的な方策(戦略)

「パターンオーダーシューズを遠隔で受注販売できるシステム」を構築します。

当社工房に来店することが困難であった遠方のお客様にも、当社製品を販売できるチャンネルが整備し、お客様満足度の向上と利便性の向上を図ります。

また、当社の生産性とサービス品質の向上も図れることになるため、既存品より高品質な商品を、値頃感の価格で販売する方策をとります。その他、事業の成長に応じて必要なIT投資を継続的に行います。

### 戦略を効果的に進めるための体制

代表鈴木幸次がCIO(最高情報責任者)とCISO(最高セキュリティ責任者)を兼務し、鈴木幸次をリーダーとした情報システム部門(プロジェクトチーム)を発足します。

プロジェクトチームには、システム開発会社のシステムエンジニアを社外メンバーとして迎え入れ、効果的なシステムの運用について議論するプロジェクト会議を定期的に行います。プロジェクトメンバーにはITパスポートの資格取得を奨励し、受験費用の一部を会社負担すると共に資格取得者には手当を支給するなどして、積極的にIT人材の育成に努めます。